



まめうし絵本紹介 12月号

今回は冬休みに読みたいまめうしメンバーおすすめ本を5冊紹介します。



スモンスモン

出版社：岩波書店 文・絵：ソーシャ・ダノウスキ 訳：新本史齊
表紙の生き物はいったい何かな？ちょっと不思議なスモンスモンの世界へようこそ。「誰かに読んでもらい絵本の世界へはいりこむ」そんな絵本の醍醐味が堪能できる一冊です。リズムよく進む言葉の響きがクセになる、気づけばこの世界の虜かも？！ぜひご家族で読み合っ、スモンスモンの不思議を読み解いてみてください。冬休み、親子のコミュニケーションのお供におすすめです。



もちどろぼうとおまわりさん

出版社：福音館書店 文・絵：へんみあやか
お正月に食べるお餅！冬休みには子どもたちがお餅を見る機会もよくありますね。この冬初めてお餅を食べる子もいると思います。このお話は、おもちやさんからお餅を泥棒したもちどろぼうがいろいろなところから逃げ回り最後どうになってしまうのか？大人も子どもも楽しく読める一冊です。ぜひ親子でどんな最後になるのか想像しながら読んでみてください！



きょうのえほん

出版社：金の星社 作・絵：いもとようこ
毎晩、おかあさんに絵本を読んでもらうたっちゃん。たっちゃんが眠ると、むっくり起きて絵本を持ち出したのはくまのぬいぐるみ！おっとおもちゃたちのお部屋に絵本を持って行って…。さあ何が始まるのかな？寝かしつけの時に読むと「おうちのおもちゃたちも、こんな風に楽しんでるのかな…」とワクワクした気持ちになって、素敵な夢をみられそうですよ☆



クリスマスの三つのおくりもの

出版社：福音館書店 作・絵：林明子
手のひらサイズの絵本三冊セット、三人兄弟それぞれのクリスマスの物語です。
。「サンタクロースとれいちゃん」は年少さん、「ズボンのクリスマス」は年中さん、「ふたつのいちご」は年長さんにおすすめです。
クリスマスのあとも、クリスマスの余韻にひたって読んでみてくださいね。



ケイティとひまわりのたね

出版社：サイエンティスト社 作：ジェイムズ・メイヒュー 訳：西村秀一
おばあちゃんと美術館に訪れたケイティ。ゴッホの描いた『ひまわり』が気に入ったケイティは、ひまわりの種が欲しくなります。つい絵に向かって手を伸ばすと、ひまわりが落ちてきちゃった！ひまわりを絵の中にもどすため、ケイティも絵に飛び込んでいきます。絵画鑑賞というと少しかたく聞こえますが、名画を楽しく自由に見ることができる絵本です。